

科目名	ソフトテニスコーチング2							年度	2026
英語科目名	SoftTennis Coaching 2							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	HY-PROJECT、柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ4/日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1		
【科目の目的】									
日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチの取得に向けて、基本的なフィードやヒッティングスキルに加え、安全管理・個々への技術的アドバイス・デモンストレーションを用いたメニューの説明など、指導の基礎について学びます。									
【科目の概要】									
スクール・地域クラブにおける普及クラスを対象とした基本的なフィード、ヒッティングに加え、レッスン管理・個々への技術的アドバイス・デモンストレーションを用いたメニューの説明など、指導の基礎についてオンコートの実技形式を中心に学びます。									
【到達目標】									
A 要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングができる B ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理ができる C 指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスができる									
【授業の注意点】									
遅刻・欠席の場合は授業開始までに連絡をすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングができる		要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングがある程度できる		要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングがあまり上手くない				
到達目標 B	ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理ができる		ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理がある程度できる		ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理があまり上手くない				
到達目標 C	指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスができる		指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスがある程度できる		指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスがあまり上手くない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
ソフトテニス指導教本									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ソフトテニスコーチング 2			年度	2026
英語表記		SoftTennis Coaching 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	グループディスカッション①	ストロークのワンポイントアドバンス	1 グループに分かれモデルを観察	瞬時に修正点を見つける	2	
			2 モデルの修正すべき点を見つける	修正すべき点の具現化・表現力		
			3 修正すべき点の矯正方法を考え、発表する	矯正方法を考え、メニューを立案する		
2	グループディスカッション②	ボレーのワンポイントアドバンス	1 グループに分かれモデルを観察	瞬時に修正点を見つける	2	
			2 モデルの修正すべき点を見つける	修正すべき点の具現化・表現力		
			3 修正すべき点の矯正方法を考え、発表する	矯正方法を考え、メニューを立案する		
3	グループディスカッション③	サーブ・レシーブのワンポイントアドバンス	1 グループに分かれモデルを観察	瞬時に修正点を見つける	2	
			2 モデルの修正すべき点を見つける	修正すべき点の具現化・表現力		
			3 修正すべき点の矯正方法を考え、発表する	矯正方法を考え、メニューを立案する		
4	ハンドトス(4点定点)しながらアドバイス	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1 声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2 正確にボールを出しながら打った後にアドバイスをおくる	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3 打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックまで行う	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
5	フィード(定点)しながらアドバイス	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1 声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2 正確にボールを出しながら打った後にアドバイスをおくる	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3 打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックまで行う	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
6	フィード(定点・前後)しながらアドバイス	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1 声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2 正確にボールを出しながら打った後にアドバイスをおくる	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3 打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックまで行う	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
7	ヒッティング(ストローク対ストローク)	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1 声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2 正確にボールを打ちながら打った後にアドバイスをおくる	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3 打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックまで行う	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
8	ヒッティング(ストローク対ボレー)	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1 声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2 正確にボールを打ちながら打った後にアドバイスをおくる	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3 打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックまで行う	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
9	ヒッティング(ボレー対ストローク)	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1 声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2 正確にボールを打ちながら打った後にアドバイスをおくる	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3 打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックまで行う	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
10	ローテーションの管理①	安全管理・運動量の確保ができる	1 打ちやすいボールをおくる	スイングスピードとインパクトを調節してボールの勢いを無くして打つことができる	2	
			2 自分とラリーしている人以外のところにも気を配る	視野を広く、常に安全管理ができる		
			3 常に片手にボールを持ちラリーを途切れさせない	常にリズムよくボールを出し続けて運動量を確保し続けられる		
11	ローテーションの管理②	時間配分・安全管理・運動量の確保ができる	1 自分とラリーしている人以外のところにも気を配る	視野を広く、常に安全管理ができる	2	
			2 常に片手にボールを持ちラリーを途切れさせない	常にリズムよくボールを出し続けて運動量を確保し続けられる		
			3 打つことに夢中になりすぎない	視野を広く、常に安全管理と運動量の確保ができる		
12	ローテーションの管理③	時間配分・安全管理・運動量の確保・アドバイスができる	1 自分とラリーしている人以外のところにも気を配る	視野を広く、常に安全管理ができる	2	
			2 常に片手にボールを持ちラリーを途切れさせない	常にリズムよくボールを出し続けて運動量を確保し続けられる		
			3 打つことに夢中になりすぎない	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		

科目名		ソフトテニスコーチング2			年度	2026
英語表記		SoftTennis Coaching 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
13	説明とデモンストレーション	メニューの説明と正しいデモンストレーションを理解する	1 抑揚をつけて話す	ポイントとなるところは大きな声で相手を惹きこむ	2	
			2 説明の順番を理解する	説明の順序をテンプレート化して理解する		
			3 デモンストレーションを理解する	相手を惹きこむ見せ方を知る		
14	説明とデモンストレーション	メニューの説明と正しいデモンストレーションができる	1 抑揚をつけて話す	ポイントとなるところは大きな声で相手を惹きこむ	2	
			2 正しい順番で話す	順をおってわかりやすく簡潔に伝える		
			3 手本となるデモンストレーションを見せる	フォームはもちろん、ボールの結果も正確に		
15	説明とデモンストレーション	メニューの説明と正しいデモンストレーションができる	1 抑揚をつけて話す	ポイントとなるところは大きな声で相手を惹きこむ	2	
			2 正しい順番で話す	順をおってわかりやすく簡潔に伝える		
			3 手本となるデモンストレーションを見せる	フォームはもちろん、ボールの結果も正確に		
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						